

“努力よりも夢中！集中するほど充実感UP”



大石 弥生（竹田市）
平成28年就農
大玉トマト



就農のきっかけと現在の取組

Uターンの際、就農相談に行った市役所で「とまと学校」を勧められ、2年間研修を受け、平成28年4月に新規就農しました。

養液土耕隔離床栽培の4.5連棟ハウスで父とパートさんと作業していますが、作業者に女性が多いこともあり、作業の軽労化に取り組んでいます。低所作業車やレール式収穫台車等を導入したことで、作業効率が大幅に向上しました。今後は総合環境制御システムの導入などで更なる効率化を目指したいです。

大分県のスマート農業普及事業で栽培コンサルティング会社からアドバイスをここ数年受けていることで、天候が不安定でも大きく収量が崩れることなく安定生産が図れています。それでも夏場は樹の成長が早く作業遅れが生じたり、台風や曇天などで生育の見込みが立ちにくいいため、目標収量にはまだ届いていないので、収量を着実に伸ばすことを目指しています。

県の女性農業者組織「おおいたAFF女性ネットワーク」で「とまとぶ」を立ち上げ、部員4名で活動しています。地域の祭りに「トマトスープ」を提供したところ大変好評で、規格外品を使った加工品の開発も進行中です。

今後の展望と皆さんへ一言

昨年から大分県指導農業士として活動しています。世代交代の時期でもあり、若返りや女性登用の意味も込めて引き受けました。農業高校や新規就農者への研修で説明したり、相談に乗っています。

努力よりも夢中！作業に追われる日々ですが、トマトは毎日違う表情を見せてくれて、夢中になって行うことが楽しく、充実感に繋がっています。



令和5年12月作成

指導農業士

指導農業士は農業後継者の育成確保を図ることを目的に各都道府県知事から認定（現在、約1万人）を受け、各地域で青年農業者に対する経営相談や技術指導などの活動を行っています。大分県の活動状況は右のQRコードをご覧ください。（大石さんのメッセージも掲載されています。）

大分県農林水産
ポータルサイト

